

令和7年度品川区シルバー人材センター事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会長 田山隆始

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に品川区高齢者事業団として設立され、その後平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで長きにわたり高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じてその活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

令和 7 年度は、区の新規事業と連携した「朝の居場所見守り事業」への関心が高まり、会員数が大幅に増加した。また、運営面ではいわゆる公益法人認定法の改正に対応するために外部理事・監事を選任するための定款の変更や会計処理の見直しなどを行った。さらに会員専用サイト「Smile to Smile」については多くの会員が利用登録をしたことで活用場面が広がり、配分金明細やセンター通信の郵送廃止が可能となるなど経費削減に効果があった。

令和 7 年度の事業実績の概況についてであるが、まず会員数の動向については、年度末時点で会員数 2,262 名、前年比 140 名の増となった。13 年ぶりの会員増となった令和 6 年度に引き続き会員数が増加したものの、増加の主な要因は前述した「見守り事業」への関心の高さによるもののため、継続的な会員の増強には、引き続き様々な媒体を活用した積極的な広報活動でセンターの認知度向上を図っていくことが重要である。

次に事業実績については、請負・委任の受託件数が前年度比 535 件の減となったものの、契約金額は年度の目標額を上回る 12 億 1,330 万円余の実績となった。また、シルバー派遣では受託件数が 241 件、契約金額が 2,903 万円余と昨年度を僅かに上回ったものの、目標金額である 3,000 万円には及ばない結果となった。請負・委任における実績の増加は、契約単価の増額といった要因もあるため、特に民間部門での受託を確保していくことで実質的な実績増に繋げていくことが求められる。

最後に、センターの大きな課題である事故防止の取り組みである。令和 7 年度の事故の発生は 14 件と前年度比 1 件増という結果になった。特に 7 月には自転車の交通事故により会員が死亡するという事案が発生し、特に自転車利用に関する対策の強化が求められた。令和 8 年 4 月以降は自転車の交通違反に対するペナルティが強化されており、それを踏まえた交通ルール遵守の啓発や賠償保険加入やヘルメット着用の促進など、早急に実効性のある対策を講じていかななくてはならない。また、近年の気象変動による熱中症対策も喫緊の課題となっており、改めて「安全はすべてに優先する」の理念を徹底し安全就業に繋げていかななくてはならない。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初 事業目標	事業実績			
		実数		前年度比較	
会員数	2,300名	2,262名 (男性1,195名、女性1,067名)		△38名 (1.7%減)	140名 (6.6%増)
就業実人員 (請負)	年間 1,850名	年間 1,875名		25名 (1.4%増)	93名 (5.2%増)
就業実人員 (派遣)		64名			△13名 (16.9%減)
就業延日人員 (請負)		242,752日人			433日人 (0.2%増)
就業延日人員 (派遣)		4,354日人			△152日人 (3.4%減)
契約金額 (請負)	年間 118,500万円	1,213,305,336円		28,305,336円 (2.4%増)	38,626,836円 (3.3%増)
		内 訳	公共 621,590,350円		58,138,416円 (10.3%増)
民間 591,714,986円			△19,511,580円 (3.2%減)		
契約金額 (派遣)	年間 3,000万円	29,037,172円		△962,828円 (3.2%減)	138,391円 (0.5%増)
受託件数 (請負)	年間 13,000件	11,362件		△1,638件 (12.6%減)	△535件 (4.5%減)
受託件数 (派遣)		241件			3件 (1.3%増)

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

令和7年度は、都議会議員選挙・参議院議員選挙・衆議院議員選挙の公報配布があり実績に大きく影響した。

また新規事業として朝の居場所見守り事業が令和7年5月から先行の3校で開始された。令和8年3月には全37校中、22校で実施している。他にも歩行喫煙防止道路ステッカー調査業務も新規事業として受注した。

こうしたことから、令和7年度の公共の事業実績は、令和6年度を件数・契約金額ともに上回る数字となった。

今後も区と連携協力しながら、受注獲得に努めていく。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、年間を通じて実施した受託件数の総数は 10,691 件であった。そのうち新規の契約は 535 件で、多くは清掃・植木だが、他にネット回答でのアンケート調査やデジタルペンモニターなどの就業もあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

事業継続のため、技能系他団体と連携を図り会員数の増加を目指した。また、技能職種における会員募集チラシの配布や新規会員へ積極的に声掛けを行い、数名の新規就業者を得た。さらに、OJT 等で技術向上を行いながら定着を図った。

② ポスティング体制

ポスティングについては、配布枚数の多い地域や高齢会員などに対して配布地域の分割や配布枚数の軽減を図るため、会員専用サイト「Smile to Smile」での募集や声掛けを行い、併せて交代会員の募集を行った。その結果、令和 7 年度は 56 名の新規就業会員の協力を得られ、地区の分割を 2 カ所実施した。

③ 就業確保・拡大

就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。開拓した仕事は会員専用サイト「Smile to Smile」を活用し会員との迅速なマッチングに努めた。仕事の担い手となる新たな会員確保のため、入会説明会、出張入会説明会、入会強化事業を実施した。説明会への申込は Web 広告での PR と Web からの申込フォームを運用し、幅広く参加者を募れるよう努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、病院の付添や買い物などの依頼が増加している。令和 7 年度は怪我をされた方からの依頼も目立った。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図った。また、令和 7 年度も引き続き、地域コンビニ PR チラシを清掃事務所や支え愛・ほっとステーションに設置し事業の PR に努めた。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ	261 件	室内外の片付け・整理・清掃	80 件
粗大ごみの搬出・解体	53 件	病院・買物の付添代行	27 件
家具移動・その他	83 件		

地域コンビニサービス計 504 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除等	88 件	食事作り	11 件

家事援助計 99 件

児童送迎

事業項目	実績
送迎	5 件

児童送迎計 5 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和7年度は小学4～6年生を対象として、各学年週1回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

小学4・6年生 各 1クラス

英会話初級4～6年生 1クラス 生徒総数 10名

③ いきいきプラザ事業の充実

いきいきプラザでは、福祉的就業の場として封入作業や検品作業などの内職作業を積極的に受注し、新規の事業所からも受注することができた。過去に封入作業等をご依頼いただいた事業所に対しても継続的に声掛けを行い、関係構築と受注拡大に努めた。

また、令和7年度も引き続き、品川区内事業所の活性化に関連した配布業務の封入作業を、東大井支所と協力し行った。

実績 26 件

(4) 適正就業への対応

適正就業ガイドラインを会員と発注者に周知した。また、担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

派遣コーディネーターと連携し、会員専用サイト「Smile to Smile」を活用し、会員と仕事の迅速なマッチングに努めた。

事業のPRは、保育補助業務のさらなる拡大のため区内保育園とその運営会社へPRDMの発送、区が発行する産業ニュースに仕事募集PRを掲載し、それに合わせたタイミングで区内6駅に会員募集PRポスターを掲出した。その他、派遣仕事開拓のWeb広告を新たに展開し、そこから遷移する派遣事業専用ランディングページに仕事申込フォームを設置し新規開拓に努めた。その結果、保育補助業務、事務補助業務、調理補助業務を新規開拓した。

(6) 地区委員会の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働・共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

レクリエーション事業の開催および全体会の開催に向けて議論を重ねた。また、直近の話題や課題について意見交換を行った。さらに、会報「シルバーしながわ」の配付を実施した。

② 地区全体会の開催

地区全体会を地区ごとに年2回開催。夏期全体会、新年全体会ともに盛況だった。

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	8/2 開催 45名	○品川警察による自転車安全教室	1/18 開催 41名	○和太鼓・三味線演奏 ○カラオケ・ビンゴ
品川南	8/17 開催 24名	○品川警察による講話	1/25 開催 29名	○サックス演奏 ○カラオケ・ビンゴ
大崎	8/24 開催 28名	○大崎警察による自転車罰則強化について ○カラオケ・ビンゴ	1/25 開催 35名	○ミュージックベル・フラワーズの楽器演奏 ○カラオケ・ビンゴ
大井東	8/10 開催 36名	○みんなで盆踊り ○ビンゴ	1/18 開催 46名	○出前寄席 ○ビンゴ
八潮	8/3 開催 29名	○八潮地区防災協議会記念講演	1/31 開催 33名	○出前寄席
大井	8/24 開催 32名	○自転車の交通ルール改正等について ○じゃんけん大会・合唱	3/22 開催 34名	○三味線と歌 ○カラオケ・ビンゴ・合唱
大井西	7/27 開催 17名	○意見交換 ○カラオケ・じゃんけん大会	2/22 開催 17名	○意見交換 ○じゃんけん大会
荏原	8/16 開催 48名	○荏原警察による「特殊詐欺に遭わないために」講話 ○認知症と介護保険、並びにケアプランについての講話 ○合唱・ビンゴ	1/17 開催 42名	○防犯及び交通安全に関する講話 ○マジックショー・ビンゴ
中延	8/11 開催 32名	○荏原警察による「特殊詐欺と防止策」講話	1/12 開催 38名	○カラオケ・合唱・ビンゴ
戸越	8/10 開催 26名	○交通安全ビデオ ○ビンゴ・カラオケ	2/15 開催 40名	○演芸

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

④ ボランティア活動

令和7年度は使用済み切手の回収を開始した。回収した使用済み切手は品川区社会福祉協議会ボランティアセンターに寄付した。

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ新入会員紹介カードを配布して、友人・知人の紹介を促進し入会の強化を図る新規会員入会強化事業を展開した。

67名入会

紙媒体は継続しながら会員募集チラシの新聞折込とポスティングを行い、さらにWeb広告も展開し、幅広い層まで効果的にPRできるように努めた。また、役職員が駅街頭に立ちPRチラシの配布を行った。

② 関係機関でのPR活動

区の関連施設にて事業案内パンフレットや会員募集等のチラシの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうためのPRを行った。またハローワーク主催の「働きながら年金受給セミナー」に参加しPRを行った。

③ 現会員数の維持策

未就業会員・新入会員の仕事の希望を丁寧に聞き取り、仕事と会員を繋ぐとともに、未就業による退会を抑制することに努めた。また未就業会員に就業情報一覧表を年2回郵送し、仕事と会員のマッチングに努め退会抑制を図った。

(2) 積極的な広報活動の展開

① 事業PRチラシ配布、新聞折込チラシ、区内主要駅への看板・ポスター掲出

- ・事業PRチラシポスティング 300枚×135回 区内全戸×2回
- ・事業PRチラシ新聞折込 15回
- ・事業PRDM発送 2回
- ・区内主要駅への看板・ポスター掲出 16駅
- ・品川ケーブルテレビ15秒CM 1回

② 区広報等による周知活動

- ・区の広報しながわ 7回
- ・区の統合ポスター 5回
- ・しながわ産業ニュースへの広告掲載 5回
- ・しながわガイドへの広告掲載 1回

③ Web広告の運用

Facebook・Instagram バナー広告、Yahoo! リスティング広告、LINE 広告、YouTube 動画広告、ランディングページ運用 4月～3月

(3) 定期的な機関誌等の発行

① シルバーしながわ

広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催した。表紙には品川区内の季節の風景などを掲載し、定時総会の報告や安全就業、会員の趣味、地区委員長紹介、地区活動、会員専用サイト「Smile to Smile」、共助会旅行の報告などセンターを取り巻く課題や身近な話題を取り上げた。

また第 157 号（令和 7 年 4 月）から、読みやすさ・親しみやすさを考え、紙面を横書きに変更した。

年間発行回数 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）

② センター通信

会員向けに最新情報や注意喚起を掲載し、特に安全就業については毎月欠かさず重要性を訴えた。その他、スマートフォン教室や東京しごと財団主催の講習会の案内を周知し、会員の日頃の悩み解決や技術力向上を図った。また、会員専用サイト「Smile to Smile」での配信も開始し、手軽に情報共有することが可能になった。

毎月発行 年間 12 回

事業 3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。接遇の研修においては、令和 7 年度も引き続き、講師を港区シルバー人材センターの会員に依頼し、実例を交えた実践的で役立つ内容となっている。

年間実施回数…12 回 受講会員数…285 名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	27	23	18	23	21	24	27	34	31	17	17	23

研修プログラム 「接遇」 講師 港区シルバー人材センター

地区委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題及び挨拶 会長

センター事業の説明 事務局長、事務局次長

就業の相談、斡旋 各担当者

会員専用サイト登録支援 支援員（会員）

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行った。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家を外部から招いて講師を務めていただいた。

また、新規事業である朝の居場所見守り事業については、開始する学校ごとに合わせて打合せ会を開催した。

・ 防災広場剪定打合せ会	4/23	21 名参加
・ 第1回朝の居場所見守り事業打合せ会	5/12	23 名参加
・ 都議会議員・参議院議員選挙公報配布説明会	6/10	248 名参加
・ シルバーパス更新業務説明会	6/11・12	28 名参加
・ 第2回朝の居場所見守り事業打合せ会	9/29・30	65 名参加
・ 児童センター業務打合せ会	9/25・30	63 名参加
・ 特殊詐欺防止啓発活動業務打ち合せ会	10/8・9	55 名参加
・ 第3回朝の居場所見守り事業打合せ会	10/29・31	37 名参加
・ 第4回朝の居場所見守り事業打合せ会	11/28	17 名参加
・ 第5回朝の居場所見守り事業打合せ会	1/9	18 名参加
・ 喫煙マナーアップ啓発事業打合せ会	3/11・12	85 名参加
・ 植木安全講習会及び技能講習会	3/17	22 名参加
・ 出会いの湯受付業務打合せ会	3/23	48 名参加
・ 除草班業務打合せ会	3/23	19 名参加
・ 第6回朝の居場所見守り事業打合せ会	3/24	10 名参加
・ 児童通学確認業務・環境整備業務会員打合せ会	3/25・26・27	162 名参加
・ ふれあい作業所公園清掃打合せ会	3/26・27	27 名参加
・ 学校等施設開放管理打合せ会	3/30	130 名参加

(3) 外部機関を活用しての研修

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通して参加勧奨を行った。

《東京しごと財団の就業支援講習会》

- ・ 植木講習会 4 名参加
- ・ ハウスクリーニングⅢ(家の中のお掃除) 1 名参加

会員や職員の資質向上を図るため、第4ブロックシルバー人材センターが実施する研修会や講習会に年間を通して参加勧奨を行った。

《第4ブロック共同研修》

- ・ ハラスメント研修 2 名参加
- ・ 交通安全講習会 8 名参加
- ・ 普通救命講習 2 名参加
- ・ 安全就業研修会 3 名参加
- ・ 中堅職員研修 2 名参加

(4) 会員専用サイト「Smile to Smile」の操作方法相談会の開催

初回登録方法やログイン後の操作方法をサポートする相談会を開催した。スマホ操作に慣れた会員が操作支援員として参加者と同じ目線でサポートし、サイトの利用を促した。相談会以外でも、本部・荏原支部・東大井支所の窓口ではいつでも職員がサポートできるような体制を整備し、事務所窓口にはタブレット端末を設置することで、どなたでも「Smile to Smile」が利用できる環境を整えた。

利用登録相談会開催 12回

令和7年度末登録状況 1,659名 登録率73%

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンター事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。

また、第5次中期計画については、事業の見通しを立て着手し始めた状況であり、令和8年度中の策定を目指している。

事業5 入会相談事業の実施

常時入会手続きは行っているが、さらに入会の機会や認知度が向上するよう本部にて入会説明会を開催した。また、会員数が減少している地区や入会率の低い地区等に出張し、入会についての相談やセンターPRを行う出張入会説明会を開催した。開催にあたっては、参加人数制限を撤廃し、多くの来場者に対応できるよう運営方法を改善した。引き続き新聞折込チラシでのPRの他、Web広告から遷移するランディングページ上に申込フォームを設置し開催日程も早期に事前公開することで、手軽に申し込める仕組みを構築し、参加者増に努めた。

入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
4/24 (木)	本部集会室	20名	12名
5/29 (木)	本部集会室	19名	7名
6/26 (木)	本部集会室	14名	4名
7/31 (木)	本部集会室	12名	6名
8/28 (木)	本部集会室	17名	8名
9/25 (木)	本部集会室	13名	6名
11/27 (木)	本部集会室	13名	8名
12/25 (木)	本部集会室	7名	1名
3/19 (木)	本部集会室	16名	5名

出張入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
10/24 (金)	中小企業センター	15名	7名
1/21 (水)	大井第三地域センター	6名	1名
2/13 (金)	大崎第一地域センター	16名	7名

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、安全管理委員会を中心に多様な取り組みを行ってきた。

令和7年度は14件の傷害事故が発生している。事故概要については資料1のとおりだが、転倒6件、転落1件、激突1件、動作の反動2件、交通事故（自転車事故を含む）3件、その他1件の合計14件となっている。会員一人ひとりが安全意識をさらに高め「事故ゼロ」を目指し、安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取り組み

- ① 各職群の打合せ会へ安全管理委員も参加し、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY（危険予知）運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採択して、安全就業の徹底を図った。
職群班 13 班 参加者 1,078 名
- ② 地区全体会（年2回×10地区）においても、安全管理委員が出席し、実際の事件事例の説明、危険予知について周知を図った。
- ③ KY（危険予知）運動については、「シルバーしながわ」や「センター通信」を通じて、会員への周知を図るとともに実践への働きかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で取り組むように勧奨した。
- ④ 自転車を利用している会員向けに、「シルバーしながわ」や「センター通信」を通じて、自転車保険加入義務化及び自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化について周知した。

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 令和7年度は「安全就業基準」の見直しについては特になかったが、引き続き状況に合わせて更新していく。
- ② 植木班・除草班の使用しているヘルメット等の装備品に安全就業のシールを貼り、安全意識の向上を図った。
- ③ 高所作業（1.5m以上）において、脚立や三脚等の道具使用の際には、事前に会員同士でチェックし、遵守を徹底させた。また、安全パトロール時も確認を行った。
- ④ 会議や就業前には「つま先立ち体操」を行い、より多くの会員に定着するよう実施し普及に努めた。また、定時総会の開催前の時間を利用し、健康増進と体力の維持のきっかけになるよう、講師を招き、トリム体操のイベントを開催した。

(3) 安全管理委員の活動強化

- ① 安全管理委員会の開催
安全管理委員会を年4回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施

計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。また、7月に自転車の交通事故により会員が死亡した重篤事故が発生したため、臨時安全管理委員会を開催した。

定期 4月・6月・10月・3月

臨時 8月

合計 年5回開催

自転車による重篤事故の発生を受け、警察署協力の上、自転車シミュレーター講習を実施、さらに会員の自転車利用の有無や保険の加入状況、ヘルメットの着用状況について下記のとおりアンケート調査を行った。また、令和8年4月より交通反則通告制度が強化されることを踏まえ、より安全意識を高めるため、アンケート結果をもとに、東京しごと財団が作成した「自転車の乗り方ガイド」や自転車保険の案内等を郵送した。

調査方法 令和7年11月27日付で会員専用サイト「Smile to Smile」のお知らせページで通知

対象者 「Smile to Smile」登録会員1,718名

回答者 845名（回答率49.2%）

② 安全パトロールの実施

5月から3月までの各月において植木現場を中心に年間14回実施し、事故防止を呼び掛けた。

8月には東京しごと財団から安全活動指導員が来所し、安全管理委員長・安全推進員で就業現場を巡回指導した。

③ 安全就業強化月間の取り組み

安全就業強化月間を7月・11月・2月の年3回に設定し、様々な取り組みを実施した。安全パトロールを月2回実施、事故防止の注意喚起のチラシ配布、「シルバーしながわ」での安全就業に関する特集記事、「センター通信」等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を行った。また、会員が就業報告書を提出の際に、事故防止への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。

さらに、各事務所に安全就業の垂れ幕を掲出し、注意喚起を図った。

以下、月ごとに行った取り組み

《7月》

- ・熱中症に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封
- ・各事務所で転倒防止・熱中症対策の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配布
- ・各事務所を「避暑シェルター」として設置し、麦茶を用意

《11月》

- ・各事務所で就業経路途中の転倒事故・自転車事故防止チラシと風邪予防「のど飴」を配布
- ・来年度の安全標語の募集
- ・「安全心得 10ヶ条を記載したクリアファイル」2点セット（A4とA5サイズ）を11月より各事務所にて配付

《2月》

- ・各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起チラシと風邪予防「のど飴」を配布

④ 安全啓発チラシの活用

会員専用サイト「Smile to Smile」へ、熱中症予防・転倒防止・自転車事故防止・雪に関する注意等安全に関するチラシを掲示し、注意喚起を行うとともに窓口でも呼び掛けを行った。

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われ、就業に復帰する方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を2回実施し、計12名が受講した。

第1回 7/25 5名 第2回 12/24 7名

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を新入会員研修会において配付し事故防止の啓発活動に活用した。

(4) 傷害・賠償保険の加入、自転車総合保険の案内及び健康診断の受診促進

- ① あいおいニッセイ同和損害保険㈱が取り扱う「シルバー人材総合補償プラン」に全会員が加入した。
- ② 自転車保険の加入の奨励
東京しごと財団で推奨している「サイクル安心保険」の加入促進を周知した。
- ③ センター通信等で品川区が実施する各種健康診断の積極的な受診を呼び掛けた。

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取り組み

植木現場に入る際は必ずヘルメットおよび転落事故防止のための安全帯の着用を徹底した。安全パトロールを継続的に行い、現場での状況把握と安全啓発を行った。

また、3月には悉皆研修として、造園業者に講師を依頼し安全講習会を実施した。

(6) その他の取り組み

- ① 入会時や就業決定後、必要に応じて安全ベストを貸与した。
- ② 会員が就業する前には、必ず担当職員から健康状態の聞き取りを行い、安全教育を実施した。

(7) 事業継続計画(BCP)の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて優先事業の絞り込みなどの整備を進めている状況。また、策定した事業継続計画の見直しも今後実施していく。

事業7 地域交流活動の充実

イベントを活用した PR

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/12 10/12	会員延べ8名 包丁研ぎ延べ53本
ムサコマルシェ2025	10/25・26	会員延べ10名 包丁研ぎ延べ99本

Ⅲ. 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、定期的な清掃、不法駐輪・駐車撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。

実績額 974 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和 7 年度定時総会

開催日時 令和 7 年 6 月 20 日（金）午後 1 時 30 分～

開催場所 品川区東大井 5-18-1 きゅりあん（大ホール）

会 員 数 2,197 名

出席会員数 1,623 名（内委任状 1,499 名）

定 足 数 1,465 名（会員数の 3 分の 2）

議 案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
定款の一部改正決議について

第 2 号議案 令和 6 年度品川区シルバー人材センター決算報告

第 3 号議案 理事 10 名選任の件（理事 11 名任期満了による選任）

報 告 事 項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 6 年度 事業報告
公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 7 年度 事業計画及び収支予算書
退任役員を紹介及び参与の委嘱について

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的開催し、事業全体の状況や会員の現状など運営全般を適宜把握した。また、会員数の増加対策や事業 PR などを検討し、理事会にて課題や問題点について活発な論議を重ね管理と経営の充実に努めた。さらに、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的実施した。

理事会 年 12 回開催

三役会 年 11 回開催

監 査 年 2 回開催

2. 会員の状況

(1) 会員の入退会者数

(名)

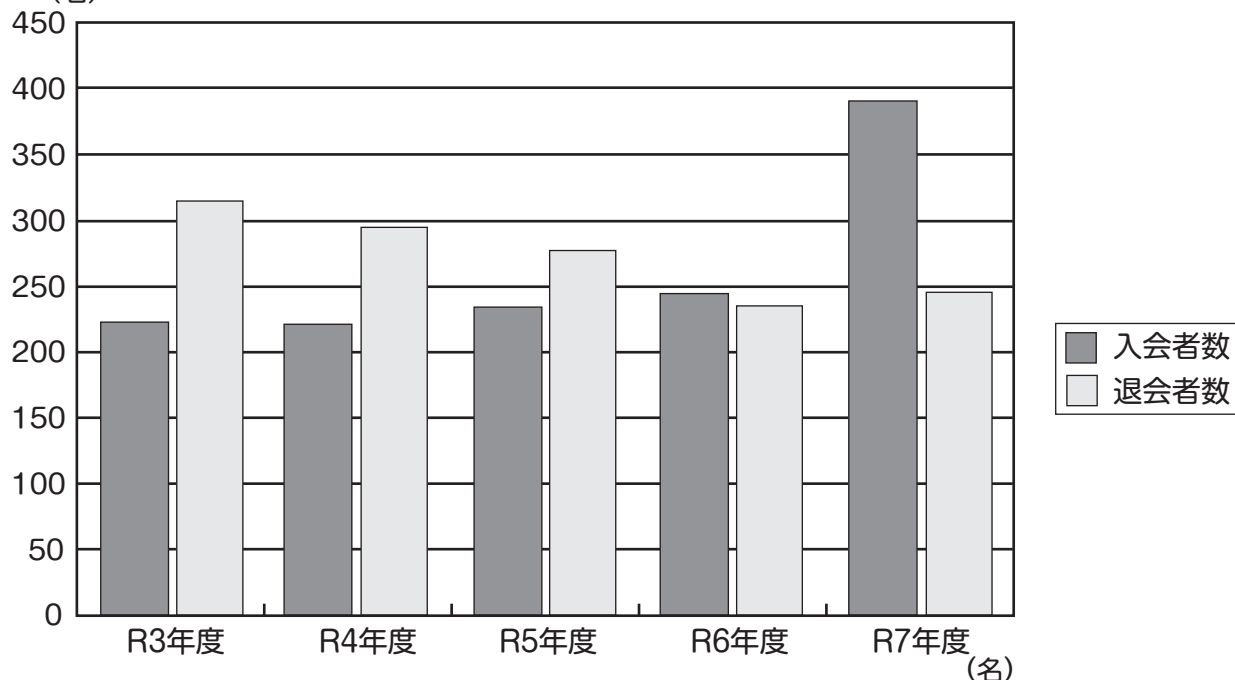
年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
R7.4	43	49	9	8	1,176	1,021	2,197
5	15	14	5	3	1,186	1,032	2,218
6	16	12	15	19	1,187	1,025	2,212
7	12	21	35	36	1,164	1,010	2,174
8	17	28	2	6	1,179	1,032	2,211
9	18	30	21	17	1,176	1,045	2,221
10	21	28	2	5	1,195	1,068	2,263
11	14	18	5	5	1,204	1,081	2,285
12	7	5	2	8	1,209	1,078	2,287
R8.1	4	2	4	3	1,209	1,077	2,286
2	5	3	1	4	1,213	1,076	2,289
3	3	2	21	11	1,195	1,067	2,262
合 計	175	212	122	125			

退会理由

病 気	71名	転 居	17名	家庭の事情(介護等)	14名	他団体等への加入	0名
就 職	28名	希望する仕事なし	9名	会 費 未 納	35名	センター運営に対する不満	0名
死 亡	31名	就業機会なし	2名	加 齢	35名	未回答(不明)	0名
						そ の 他	5名
						合 計	247名

(2) 会員入退会者数の推移 (過去5年間)

(名)



区 分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
入会者数	224	220	234	246	387
退会者数	313	296	272	236	247

(3) 会員の年齢別内訳

令和8年3月31日現在(名)

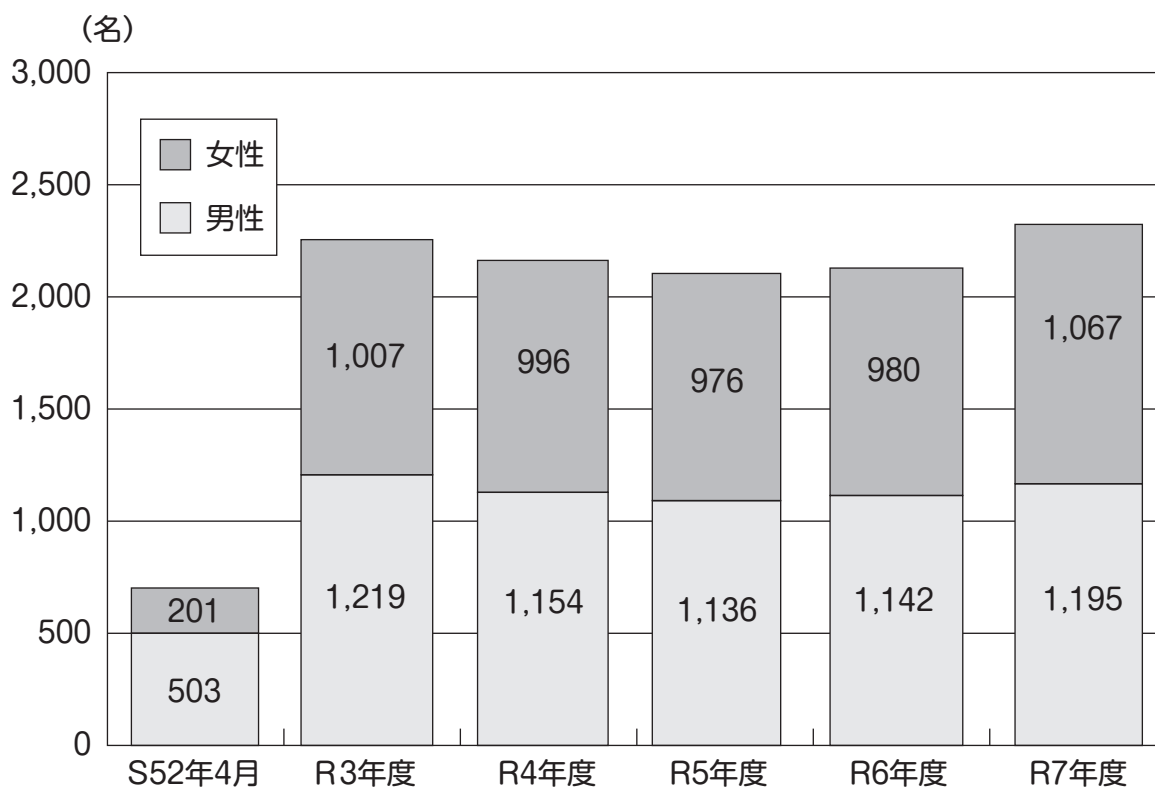
		60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
会 員	男性	0	28	105	208	433	421	1,195
	女性	0	42	122	239	346	318	1,067
	計	0	70	227	447	779	739	2,262

- ・会員の男女比 男性 52.8% 女性 47.2%
- ・平均年齢 男性 77.9歳 女性 76.7歳
- ・最高年齢 男性 96歳 女性 96歳

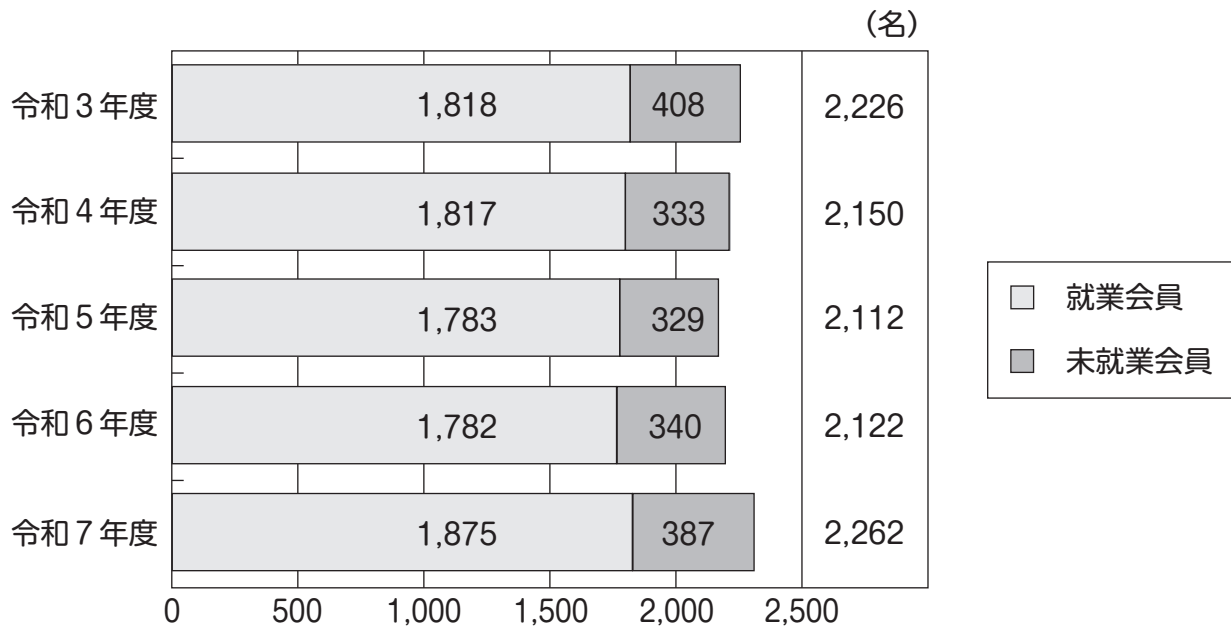
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
男性	503	1,219	1,154	1,136	1,142	1,195
女性	201	1,007	996	976	980	1,067
計	704	2,226	2,150	2,112	2,122	2,262



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
令和3年度	1,561	1,443	1,532	1,577	1,503	1,575	1,576	1,570	1,538	1,533	1,545	1,549	1,818
令和4年度	1,570	1,549	1,562	1,544	1,474	1,567	1,559	1,505	1,550	1,515	1,523	1,554	1,817
令和5年度	1,546	1,543	1,548	1,505	1,452	1,562	1,521	1,542	1,488	1,481	1,490	1,489	1,783
令和6年度	1,468	1,521	1,518	1,516	1,418	1,467	1,551	1,528	1,456	1,437	1,475	1,478	1,782
令和7年度	1,497	1,482	1,511	1,498	1,429	1,423	1,545	1,591	1,494	1,509	1,554	1,553	1,875

3. 事業実績

(1) 令和7年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,197	公共	56	1,190	9,124	41,291,327	788,254	6,387,125	48,466,706
		民間	896	1,476	10,410	43,022,263	890,065	6,791,161	50,703,489
		計	952	2,666	19,534	84,313,590	1,678,319	13,178,286	99,170,195
5月	2,218	公共	58	1,318	10,802	43,155,724	697,104	7,361,069	51,213,897
		民間	934	1,565	10,929	43,428,797	1,246,403	6,931,936	51,607,136
		計	992	2,883	21,731	86,584,521	1,943,507	14,293,005	102,821,033
6月	2,212	公共	56	1,708	12,957	47,483,763	1,046,670	7,229,150	55,759,583
		民間	982	1,607	10,380	44,243,659	1,347,346	7,074,340	52,665,345
		計	1,038	3,315	23,337	91,727,422	2,394,016	14,303,490	108,424,928
7月	2,174	公共	53	1,199	9,054	48,611,220	663,859	10,888,145	60,163,224
		民間	923	1,492	10,329	44,557,087	1,383,509	6,938,803	52,879,399
		計	976	2,691	19,383	93,168,307	2,047,368	17,826,948	113,042,623
8月	2,211	公共	52	1,313	8,245	38,741,109	776,421	6,419,464	45,936,994
		民間	848	1,391	9,926	41,601,820	1,676,564	6,483,817	49,762,201
		計	900	2,704	18,171	80,342,929	2,452,985	12,903,281	95,699,195
9月	2,221	公共	54	966	8,304	38,335,380	598,511	6,601,522	45,535,413
		民間	920	1,355	9,270	41,842,367	1,870,972	6,283,155	49,996,494
		計	974	2,321	17,574	80,177,747	2,469,483	12,884,677	95,531,907
10月	2,263	公共	53	1,279	10,464	42,914,256	612,965	6,761,827	50,289,048
		民間	968	1,822	12,032	44,991,298	1,457,365	6,907,695	53,356,358
		計	1,021	3,101	22,496	87,905,554	2,070,330	13,669,522	103,645,406
11月	2,285	公共	57	1,371	9,945	42,855,540	1,992,318	8,195,554	53,043,412
		民間	929	1,506	9,512	41,439,524	1,245,019	6,562,319	49,246,862
		計	986	2,877	19,457	84,295,064	3,237,337	14,757,873	102,290,274
12月	2,287	公共	55	1,070	8,802	37,366,704	608,487	6,412,477	44,387,668
		民間	909	1,441	9,544	38,245,326	1,119,802	6,054,871	45,419,999
		計	964	2,511	18,346	75,612,030	1,728,289	12,467,348	89,807,667
1月	2,286	公共	51	1,242	9,354	37,736,156	598,124	7,165,057	45,499,337
		民間	814	1,236	8,446	34,826,959	784,193	5,602,930	41,214,082
		計	865	2,478	17,800	72,563,115	1,382,317	12,767,987	86,713,419
2月	2,289	公共	57	1,625	12,580	56,860,901	834,041	11,839,184	69,534,126
		民間	770	1,515	12,209	36,885,966	927,669	6,458,643	44,272,278
		計	827	3,140	24,789	93,746,867	1,761,710	18,297,827	113,806,404
3月	2,262	公共	69	1,400	11,236	42,409,252	684,759	8,666,931	51,760,942
		民間	798	1,397	8,898	37,543,838	1,012,927	12,034,578	50,591,343
		計	867	2,797	20,134	79,953,090	1,697,686	20,701,509	102,352,285
累 計		公共	671	15,681	120,867	517,761,332	9,901,513	93,927,505	621,590,350
		民間	10,691	17,803	121,885	492,628,904	14,961,834	84,124,248	591,714,986
		計	11,362	33,484	242,752	1,010,390,236	24,863,347	178,051,753	1,213,305,336

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	1,700	4,258,809	1,700	4,258,809	0.4
2.技能群	81	1,169,533	3,816	33,515,343	3,897	34,684,876	3.4
3.事務群	4,035	17,976,393	2,606	18,168,866	6,641	36,145,259	3.6
4.管理群	31,219	243,155,663	15,546	92,370,777	46,765	335,526,440	33.2
5.折衝外交群	0	0	3,540	5,672,975	3,540	5,672,975	0.6
6.軽作業群	29,092	116,843,381	78,435	313,084,801	107,527	429,928,182	42.6
7.サービス群	56,440	138,616,362	16,242	25,557,333	72,682	164,173,695	16.2
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	120,867	517,761,332	121,885	492,628,904	242,752	1,010,390,236	100
構成比(%)	49.8	51.2	50.2	48.8	100	100	

図-1 職群別配分金比率

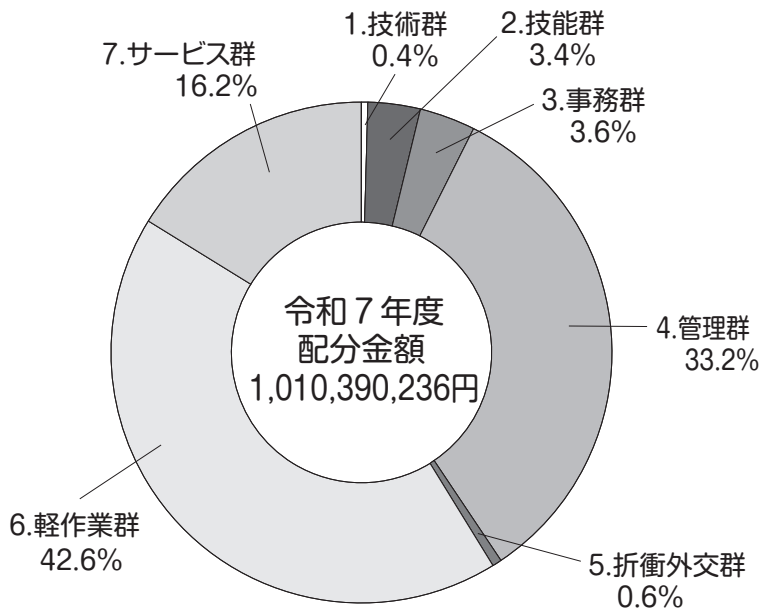
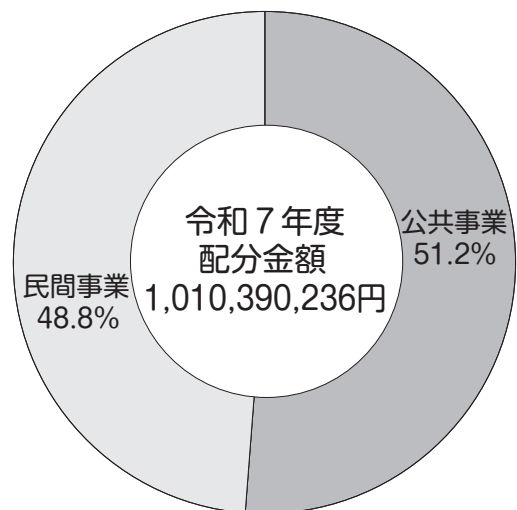


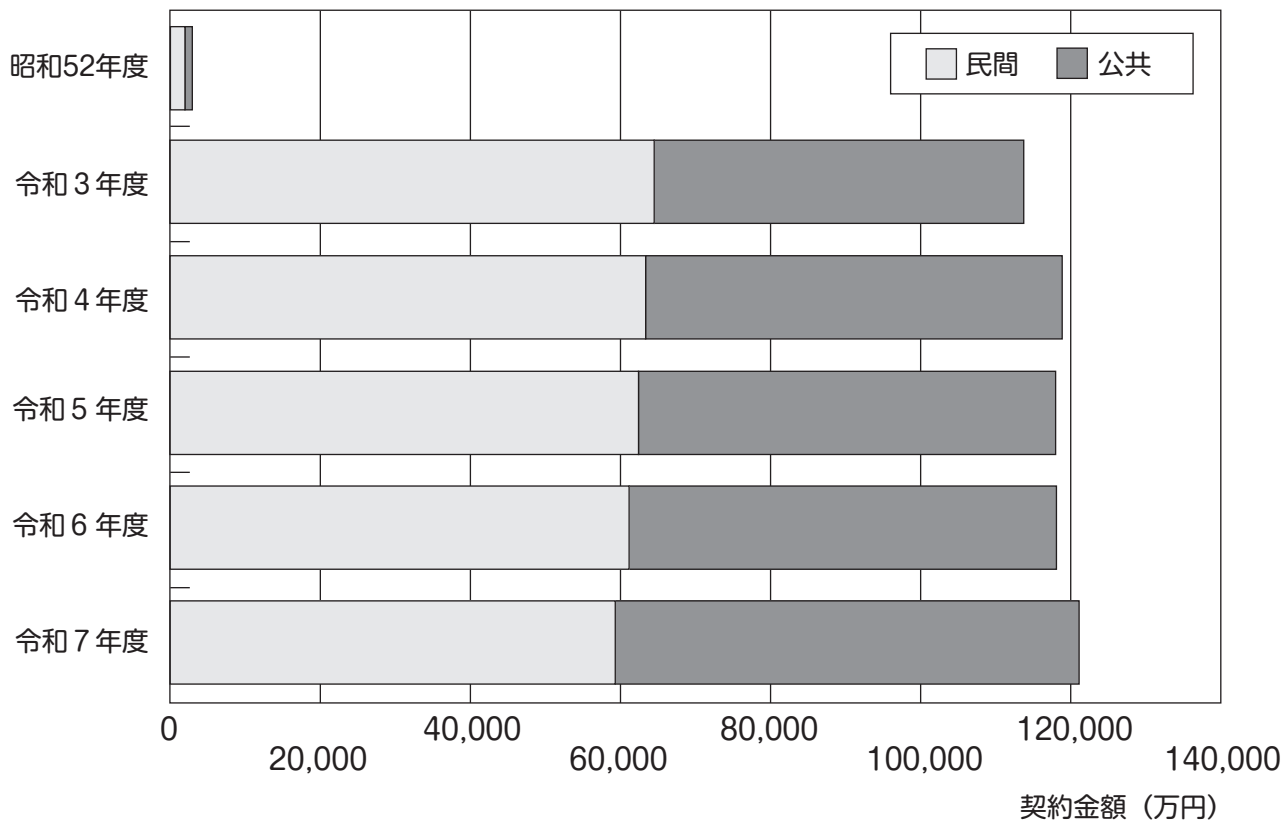
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
令和3年度	公共	669	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492	41.3 : 58.7
	民間	13,265	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800	
	計	13,934	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292	
令和4年度	公共	706	110,913	454,579,864	11,975,387	64,977,519	531,532,770	45.0 : 55.0
	民間	12,820	151,089	570,181,178	11,959,271	67,282,677	649,423,126	
	計	13,526	262,002	1,024,761,042	23,934,658	132,260,196	1,180,955,896	
令和5年度	公共	704	113,312	452,226,417	9,845,694	75,786,664	537,858,775	45.7 : 54.3
	民間	11,943	137,798	535,994,265	16,341,696	87,601,295	639,937,256	
	計	12,647	251,110	988,220,682	26,187,390	163,387,959	1,177,796,031	
令和6年度	公共	684	111,858	470,865,193	10,279,549	82,307,192	563,451,934	48.0 : 52.0
	民間	11,213	130,461	510,362,670	14,127,134	86,736,762	611,226,566	
	計	11,897	242,319	981,227,863	24,406,683	169,043,954	1,174,678,500	
令和7年度	公共	671	120,867	517,761,332	9,901,513	93,927,505	621,590,350	51.2 : 48.8
	民間	10,691	121,885	492,628,904	14,961,834	84,124,248	591,714,986	
	計	11,362	242,752	1,010,390,236	24,863,347	178,051,753	1,213,305,336	

図-3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和7年度月別事業実績【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額		
		延実人員	延日人員	賃 金	手数料等	計
	件	人	日人	円	円	円
4月	19	23	270	1,251,577	365,324	1,616,901
5月	20	25	295	1,331,875	394,848	1,726,723
6月	20	49	344	1,746,203	475,065	2,221,268
7月	20	51	628	3,916,886	1,186,787	5,103,673
8月	21	53	584	3,653,349	1,037,105	4,690,454
9月	20	51	348	1,754,010	542,954	2,296,964
10月	18	26	330	1,562,936	398,697	1,961,633
11月	20	26	272	1,295,342	351,232	1,646,574
12月	20	27	326	1,508,309	455,872	1,964,181
1月	19	26	298	1,371,941	445,777	1,817,718
2月	22	29	297	1,385,829	397,339	1,783,168
3月	22	28	362	1,699,078	508,837	2,207,915
計	241	414	4,354	22,477,335	6,559,837	29,037,172